

公益社団法人日本女子体育連盟 会長報告

1. 慶弔・表彰等関係

顕彰／第7回 JAPEW 功労賞 佐浦益子氏（山口県）

第15回 JAPEW 指導者賞

青山優子氏（福岡県）、井坂恵子氏（茨城県）、井上寿枝氏（埼玉県）、

茨木浩美氏（兵庫県）、篠 史美氏（栃木県）、勢畑多恵子氏（東京都）、

田中恵美子氏（山口県）、団野美由紀氏（愛知県）、寺澤ゆかり氏（鳥取県）

祝意／石川県女子体育連盟創立50周年 祝辞・講演 高橋会長

（公財）健康・体力づくり事業財団創立40周年記念式典（祝電）

弔意／大越福枝先生（茨城県女子体育連盟会長）供花

2. 後援・協賛承諾および役員等応嘱関係

応嘱／（公財）スポーツ安全協会 理事及び副会長一村田顧問

（公財）日本スポーツ協会 監事一村田顧問

（公財）日本スポーツ協会 評議員一林参与

（この6月21日の評議員会において飯田路佳常務理事が新規に評議員に就任予定）

（公財）日本スポーツ協会・全国スポーツ指導者連絡会議 代表委員一笹本参与

（公財）全国大学体育連合 大学体育関連情報調査チーム研究員一飯田常務理事

日本スポーツ体育健康科学学術連合 監事一細川副会長

日本体育学会理事一高橋会長

後援／第26回ねりま体操フェスティバル

第57回全日本学生なぎなた選手権大会（及び大会顧問）

アーティスティックムーブメント・イン・トヤマ2018

第20回東京なかの国際ダンス・コンペティション

体操フェスティバル2018 OSAKA（及び大会顧問）

日本教育シューズ協議会「足育」研修会（埼玉大会）

第13回子ども身体運動発達指導士養成講習会

岡山県女子体育連盟 第2回ダンス発表会（会長出席）

3. 補助金関係

（公財）ミズノスポーツ振興財団／女子体育振興助成金交付 ¥1,000,000

（公財）スポーツ安全協会／助成金交付 ¥500,000

日本教育シューズ学校体育振興基金／助成金交付 ¥250,000

4. 研究および会議出席等関係

会議等出席関係

全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）運営委員会

4/22, 6/11, 7/8, 8/7, 10/8, 11/22, 12/9

（公財）日本スポーツ協会 加盟団体事務局長会議 竹内事務局員 4/13

第53回全国女子体育研究大会打ち合わせ

細川副会長・宮本常務理事、長津理事、勢畑東京都女子体育連盟事務局長 4/26

平成30年度体力づくり国民会議 八木副会長 5/15
日本スポーツ体育健康科学学術連合平成30年度総会 細川副会長(監事・運営委員として) 6/16
横浜2020(正式名称:2020 Yokohama Sport Conference)(組織委員/総務委員/学術委員として)
八木副会長 第2回運営委員会 5/19, 第1回 組織委員会 9/22, 第3回学術委員
会 1/28, 高野牧子常務理事 第5回学術委員会 4/10
石川県女子体育連盟50周年記念行事(会長出席) 12/2
顧問参与と常務理事懇談会 3/22

5. 主催、共催事業関係(詳細は事業報告参照)

第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 8/7, 8, 9, 10
DMIL 養成講習会・クリニック 8/20、検定講習会 9/15-17(A級2名、B級2名、C級3名)
第52回全国女子体育研究大会(東京) / JAPEW SUMMER SEMINAR2018(教員免許状更新講習含む)
8/18-20
第13回 JAPEW ダンスムーブメントセミナー2018 in 沖縄 2019.2/10-11
第62回未来世代の研究発表部門&卒業ダンス作品発表部門 2019.2/11

6. 連盟関係

内閣府定期提出書類(平成31年度事業計画・予算書等) 3/29(細川・寺山・事務局)
全国理事会 5/12、2019.2/9
JAPEW 賞選考委員会(敬称略)
功労賞 5/27 出席委員:会長、八木、片岡、高橋眞、林、笹本
指導者賞 5/27 出席委員:会長、細川、林、笹本、佐藤、小松、(山西;書面对応)
平成30年度総会 5/27
内閣府および(公財)日本スポーツ協会/29年度事業報告・30年度事業計画・財務諸表等届出 6/28
正会員懇談会(東京) 8/18

7. その他

ふれあいリズムダンス審査員 村田顧問 12/26-27
「ダンスチャレンジ2020!」クラウドファンディング 飯田常務理事
日本教育シューズ主催 新春交歓会:飯田常務理事 2/1
『(公社)日本女子体育連盟学術研究第35巻』刊行
第35巻を電子ジャーナルとしてJ-STAGEに公開予定

8. 代表理事・業務執行理事の執行状況報告

平成30年度 事業報告

1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催

1) 関連研究プロジェクト

(高橋会長)

(1) 研究タイトル『舞踊教育の現状に関する国際比較研究』

(2) 申請者：八木ありさ（日本女子体育大学）、細川江利子（埼玉大学）、飯田路佳（十文字学園女子大学）、高野牧子（山梨県立大学）、佐藤廣子（竹早教員保育士養成所・非）、寺山由美（筑波大学）、宮本乙女（日本女子体育大学）、田中葵（千葉明德短期大学）、渡辺碧（日本女子体育大学）、大西祐司（びわこ成蹊スポーツ大学）

(3) 研究背景：ダンス・舞踊は、表現や身体表現、ダンスとして学習指導要領の中に位置づけられていることから、学校教育におけるその教育的価値について一定の認知と理解を得ていると考えることができる。また、生涯教育においても、世代を超えて様々なタイプのダンスに親しむ人が増えていることが報告されている。学校教育にダンスを導入することについては、明治以来、先輩諸姉が英米での教育実践を参考に日本の教育システムや文化に応じた形を模索し、現在のそのような活況を呈しているところである。また、生涯スポーツの一環としてのダンスの推進に関しては、JAPEWの取り組みも一翼を担っている。これらの発端は欧米文化における取り組みの導入であったものだが、少なくとも戦後の展開において、日本独自のものが育っている可能性がある。その独自性を明らかにすることで、次のステップへの課題も見えてくるのではないかと。そこで、舞踊教育先進国と評されるアメリカ、イギリス、ドイツと日本の、ダンス教育に関する考え方や現状を比較し、日本の独自性を探ることを目的とした調査研究を計画する。また、この成果は2021年開催のIAPESGW東京大会で発表する。

(4) 研究報告：1年目の平成30年度は、Trinity Laban(英)、Berlin Freie Universität(独)と交流を行い、各国と日本の状況と比較するための調査項目の検討を行った。

2) 加盟団体との共同研究

(高橋会長)

今年度の本部と加盟団体との共同研究は行わなかった。

3) 全国女子体育研究大会

第52回全国女子体育研究大会(東京)／JAPEW SUMMER SEMINAR 2018-平成30年度夏期講座-
2.-1) 参照のこと

2. 女子体育に関する講習会及び育成事業

1) サマーセミナー

第52回全国女子体育研究大会(東京)／JAPEW SUMMER SEMINAR 2018-平成30年度夏期講座-

□ 生涯スポーツ／授業・保育／国際交流専門委員会
(佐藤常務理事、高野常務理事、古関理事、八木常務理事、田中葵専門委員長)

【公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業】

期 日	2018年8月18日(土)・19日(日)・20日(月)
後 援	スポーツ庁、東京都、(公財)日本スポーツ協会、(公財)スポーツ安全協会、 (公財)ミズノスポーツ振興財団 (公財)日本学校体育研究連合会
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター (NYC)
内 容	講演、講義、実技、実習、交流会など
参加者	全国の幼保・小・中・高校および大学、生涯スポーツなどの指導関係者、大学生等
参加費	生涯スポーツ・学校体育コース(2日)：会員12,960円、一般15,120円、学生7,560円 ※会員=正会員・特別会員および『女子体育』定期購読者 学校体育コース：(2日料金)：会員6,480円、一般7,560円、学生3,780円 教員免許状更新講習(1日間) 会員・一般 6,480円 DMI Lクリニック(1日間) 有資格者 5,400円 DMI L養成講習会(3日間) 会員・一般・学生 16,200円

<概 要>

本年度は第52回全国女子体育研究大会(東京) / JAPEW SUMMER SEMINAR 2018として、メインテーマ「ダンスがひらく学びの世界ー地域をつなぐ・未来へつなぐー」を掲げ、加盟団体にご協力いただき、以下の内容で開催した。

- ・加盟団体協力による「ダンス交流会」
- ・オリンピック・パラリンピックに向けた「Welcome to TOKYO」の発表
- ・国際交流専門委員会「インターナショナル・ダンス・ワークショップ」
- ・学校体育コース「新学習指導要領にそったダンス指導法」「加盟団体推薦授業ワークショップ」
- ・教員免許状更新講習
- ・生涯スポーツコース外部講師による講義・実習、内部講師によるダンスムーブメント実技
- ・「JPEW-DMIL S級指導員による指導発表」
- ・JPEW指導者養成事業「養成講習会」「DMIL・クリニック」
- ・外部資格更新対象研修「健康運動指導士・健康運動実践指導者・GFI(JAFA)」

両コースとも2日間受講を原則とし、学校体育コースは3日目の追加受講を可能とし、教員免許状更新講習も同時に開講された。生涯スポーツコースは昨年から引き続き、本事業は、(公財)日本健康・体力づくり事業財団の「健康運動指導士、健康運動実践指導者」資格ならびに(公社)日本フィットネス協会「GFI」資格を更新するための認定講習会として認められた。今回よりホームページへの要項掲載、及びホームページからの申込受付を開始し、50数名の利用があった。来年以降の利用増加が期待される。また、従来からの申込・入金方法を変更し、料金受取人払い封筒の作成などで経費の節減に努めた。

参加者の内訳は、生涯スポーツコース204名(会員120名、一般60名、学生9名、特別無料枠4名、講師3名、養成講習8名)、学校体育コース124名(会員41名、一般29名、学生4名、免許更新34名、特別無料枠11名、講師5名)合計328名となった。

全国大会1日目は全体会においてJPEW賞の表彰式がおこなわれ、JPEW功労賞1名、JPEW指導者賞9名が受賞。国立理化学研究所の辨野義己氏による「長寿菌がいのちを守る」と題した講演が行われ、大切な腸内環境コントロールについての興味深い内容であった。午後からは、共通項目として「ダンス交流会」において、岐阜県・高知県・東京都の各加盟団体ご協力により、民踊「よさこい鳴子踊り」「春駒」と「Welcome to TOKYO」の3曲を受講者全員で楽しんだ。2日目午後には

国際交流委員会による「インターナショナル・ダンス・ワークショップ」が開催され、FATIMATA氏による西アフリカの文化とダンスの紹介の他、実技の講習が行われた。

学校体育コース（教員免許状更新講習を含む）1日目は、高橋和子氏による実技指導、加盟団体推薦の授業ワークショップ①は兵庫県の浮田未来氏では子どもたちの楽しく表現する様子が見られるような実技指導をいただき、また、新学習指導要領作成者である安江美保氏と高橋和子氏による「新学習指導要領解説とQ&A」を行った。2日目は鹿児島県、徳島県、福岡県、新潟県のご協力により授業報告・地域実践報告が行われ、大変興味深く示唆に富む実践の様子を伺うことができた。午後には加盟団体推薦の授業ワークショップ②として千葉県の実技指導者武半まゆみ氏が熱心に指導された。3日目は宮本乙女氏、細川江利子氏による実技で小学校から中学校、中学校から高校と発達を見通したダンス学習を指導いただいた。

生涯スポーツコースの1日目は、内部講師による実技の中で、オリンピック・パラリンピックに向けて作成された『Welcome to TOKYO』の講習が行われた。さらに、初めての試みである「JAPEW-DMIL S級指導員による指導発表」が行われ、3名の経験豊かな指導員の素晴らしい指導法を学ぶ良い機会となった。2日目は名倉秀子氏による栄養学の講義『食にまつわるエトセトラ』、全国各地の食文化の違いや、年代の移り変わりによる食の変化について学んだ。実習では中村容一氏による『習慣化をねらいとした介護予防運動』のテーマにそって、身近にあるタオルを使用した様々な動きの変化のさせ方を学んだ。内部講師による3つの実技講習は、『豊かなスポーツライフをめざして』をテーマに、様々なジャンルの音楽に合わせて、地方から参加される大勢の指導者達に新しい挑戦の場を提供した。

■プログラム

		9:30~10:00	10:00~11:50	13:00~14:20	14:30~15:50	16:00~17:00	17:15~18:15	19:00~20:30
8月18日(土)	生涯スポーツコース 受付		全体会 【セ417】 会長挨拶 ご来賓挨拶 JAPEW賞表彰式 講演(70) 辨野義己 諸連絡等	昼食(70) 実技①(80) 【ス1・2体】 佐藤廣子	実技②(80) 【ス1・2体】 飯田路佳	実技③(60) 【ス1・2体】 JAPEW-DMIL S級 指導員指導発表	共通(60) 【ス1・2体】 ダンス交流会 協力:岐阜県 高知県 東京都	レセプション(90) 【レストランとき】 ※受付18:45~ 『Welcome to TOKYO』 披露 18:30~19:30 教員免許状更新 試験【第1研修室】
	学校体育コース 教員免許状更新講習 受付	9:30~10:00		13:00~14:45	15:00~16:00	16:00~17:00		
8月19日(日)	生涯スポーツコース 受付	8:30~9:00	講義(80) 実習(80) 【セ102】 【ス1・2体】 名倉秀子 中村容一	昼食(60) 共通(105) 【ス1・2体】 国際交流 インターナショナル ダンス ワークショップ FATIMATA	実技④(60) 【ス1・2体】 田中安理	まとめ(20) 【ス1・2体】 佐藤・飯田 田中	閉講式(25) 【ス1・2体】 挨拶 報告 高野牧子 2020東京 DMS沖縄	
	学校体育コース 教員免許状更新講習 受付	9:00~9:30	9:30~12:00		15:00~16:00	16:00~17:00		
	加盟団体	授業報告・地域実践報告 【セ101】 協力:鹿児島県・徳島県 福岡県・新潟県 座長:寺山由美			授業WS②(60) 【ス3体】 千葉県推薦 武半まゆみ	移動 教員免許状更新 試験【ス5体】		

■ 8/20プログラム 学校体育コース・教員免許状更新講習・DMI L(クリニック・養成講習会)

8:40~		9:00~11:50		13:00~15:45		15:45~		16:00~17:00	
8月20日(月)	学校体育コース 教員免許状更新講習	受付	実技/学校体育関係(【ス4体】 宮本乙女	昼食(70)	実技/学校体育関係(【ス4体】 細川江利子	閉講式	教員免許状更新試験【ス5体】		
	DMI Lクリニック		※内容は有資格者に別途ご案内		※養成講習会受講希望の方は、受講資格などを連盟事務局にお問い合わせください				
	DMI L養成講習会								

2) 未来世代の研究発表会

第62回未来世代の研究発表部門&卒業ダンス作品発表部門

□研究交流専門委員会(高野常務理事、茅野理事)

期 日 2019年2月11日(祝・月)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟309、スポーツ棟第1・2体育室)

内 容 ①研究発表部門 <第62回未来世代の研究発表会(卒論・修論・博論)>
②卒業ダンス作品発表部門

参加者 高校生、大学生、高校・大学の指導関係者、会員、一般

計 177名(招待校を除く参加者延べ人数、ダンス参観者、両部門参加者14名を含む)

参加費 発表者:1人1000円、参観者:研究抄録プログラム代500円(ダンス鑑賞者は必需)

<概要>

この研究発表会は、3月に大学を卒業、修了する未来世代の若者による、研究(口頭発表・ポスター発表)とダンスの発表会である。今年度は口頭発表3題(博論1題、修論2題)、ポスター発表44題、ダンス発表7作品、ダンス招待校2校の発表があり、発表者(計99名)・ダンス参観者(78名)・指導教員・研究発表参観者を含め、約200名の参加人数であった。各大学において、ご指導下さった先生方に心より感謝申し上げたい。

今年度は、昨年度同様参加費を1,000円、参観者の研究抄録プログラム代を500円とした。また、会場も昨年度同様、口頭発表をセンター棟160人室、ポスター発表を第1体育室、ダンス発表を第2体育室で行った。口頭発表はポスター発表者もダンス作品発表者も参観し、ほぼ満席の盛況ぶりであった。スライドも見やすく、音響も聴きやすいため、口頭発表の会場としてはふさわしい部屋であった。ポスター発表は、広々とした体育室での開催と合って、ゆとりをもったパネル配置が可能となり、近くのグループの声があまり邪魔になることなく発表・聴講することができた。ダンス作品は移動式の観覧席を設け、舞台と客席がフラットになることなく、観客が発表を見やすくなる工夫を行うことができた。フィナーレでは招待校の大学生や高校生も参加して、ダンサーも観客も楽しめるひとときとなった。体育館での実施は広い空間でゆったりと行うことが出来、発表者や参観者から好評を得ることができた。次年度は一昨年までと同様の小ホールでの開催となるが、全国大会として東京都女子体育連盟と合同開催でプログラムも煩雑になるため、事前の打ち合わせをしっかりと行い、各委員会との連携も密にし、運営を行っていきたい。

3) JAPEW-ダンスムーブメントセミナー

広域連携推進事業/第13回 JAPEW ダンスムーブメントセミナー2018 in 沖縄

□飯田常務理事、佐藤常務理事

【公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業】

主催 (公社)日本女子体育連盟 沖縄県女子体育連盟
共催 沖縄県教育委員会
期日 2019年2月10(日)・11(月祝)
会場 沖縄県立武道館 武道場(1日目) アリーナ(2日目)
後援 スポーツ庁 (公財)日本学校体育研究連合会 那覇市教育委員会
(公財)沖縄県体育協会 (公財)日本教育公務員弘済会沖縄支部
沖縄県学校体育研究連合会
講師 高橋和子、細川江利子、島袋厚子(JAPEW-DMIL B級インストラクター)
佐藤廣子、八木ありさ、飯田路佳
参加者 県内・県外78名、公開演技者21名 講師等9名 計108名
参加費 4,000円

<概要>

今回13回目を迎えた本セミナーは、(公社)日本女子体育連盟と沖縄県女子体育連盟の共催により、ダンスムーブメントの普及を図ると共に、生涯スポーツ、学校体育の振興に寄与する人材育成を目指して行い、全国からの会員や県内の参加者、総勢108名が受講した。(公社)日本女子体育連盟からは顧問・参与をはじめ常務理事や理事等9名が参加し、その内指導員制度専門委員でもある会長以下4名および沖縄県のJAPEW-DMIL B級指導員が講習に充たった。

セミナーはJAPEW-DMIL B級指導員主宰クラブによる公開演技からはじまり、個性豊かな講師陣による講習へと続き、会場は参加者の熱気であふれた。沖縄県内の参加者からは、「東京の空気を感じることができた。」「これからもイベントに参加したい。」「県外からも「バラエティに富み、楽しく動けてよかった。」など、多くの参加者から満足の声があがった。開催日程が観光地のオンシーズンであったため、参加人数は、例年に比べやや少なめとなったことは今後の検討事項としたい。

2日間のセミナーを通して、踊る意味や体を動かす意味を再確認した。ダンスの力は、人や地域、時代を超えて、多くの人に繋がりや創造性を育むことも再認識できた。

4) 「JAPEW-ダンスムーブメント指導員」養成事業 (略称 JAPEW-DMIL)

□指導員制度専門委員会 (飯田常務理事、佐藤常務理事、古関理事、小松理事)

①「JAPEW-ダンスムーブメント指導員」養成講習会

<A級-第15回、B級-第19回、C級-第22回>

期日 2018年8月18日(土)・19日(日)・20日(月)
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内容 理論、実技 計21時間 (※18日・19日はサマーセミナーAコース受講に代える)
講師 高橋眞琴、飯田路佳、佐藤廣子、高橋宏幸
受講者 今年度資格取得希望者 A級2名、B級2名、C級3名 計7名
受講料 会員・一般・学生 16,200円

②「JAPEW-ダンスムーブメント指導員」検定講習会

期 日 2018年9月15日(土)・16日(日)・17日(月)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内 容 理論、実技、指導実習 計19時間 ※検定試験
講 師 高橋和子、八木ありさ、細川江利子、片岡康子、高橋眞琴、林眞幾子
受講者 A級2名、B級2名、C級3名
合格者 A級2名、B級2名、C級3名
検定委員 高橋和子、八木ありさ、細川江利子、片岡康子、高橋眞琴、林眞幾子、
飯田路佳、佐藤廣子、寺山由美
概 要 本年も、優れた資質の指導員を輩出することができた。詳細は『女子体育』10・11月号で報告した。公認指導員現数は161名。

③「JAPEW-ダンスムーブメント指導員」クリニック

期 日 2018年8月20日(月)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内 容 実技研修
講 師 片岡康子、高橋眞琴、林眞幾子、細川江利子、寺山由美
受講者 A・B・C級 有資格者 61名
受講料 会員 5,400円
概 要 本年も多くの公認指導員の参加があった。クリニックおよび養成講習会に関する詳細は『女子体育』12・1月号で報告した。

3. 機関誌その他の学術刊行物の発行

1) 『女子体育』編集発行 □『女子体育』編集専門委員会(宮本常務理事、高橋うらら理事)

- ①刊行 隔月刊・年間6回とし、発刊は発刊月前月の25日発刊とした。
構成：通常号4本、特集号2本(ダンス指導のQ&A・全国大会特集号、AJDF報告特集号)
 - ②方針 2018年度も引き続き、通常号80頁、増刊号120頁、横書き、写真の掲載等、同様の方針で取り組んだ。
 - ③購読料 年間購読料5,800円、新卒4,000円、学生3,800円
 - ④年間テーマ 「主体・対話・創造 ダンスがひらく学びの世界」
 - ⑤月テーマ
- 4・5月号 「主体的な学びの仕かけ」
豊かなスポーツライフの実現に欠かせない主体的な学びを学校時代に体験する、そして卒業後も自ら選択してますます生き生きと学ぶ、そんな仕かけについて、実践的に論じた。
- 6・7月号 「対話的な学びの仕かけ」
言葉に加えて、表情、ダンス、拍手、歓声、協力、応援…体育や生涯スポーツの現場ではたくさんの対話がある。思考の深まる対話的な学びの仕かけについて、実践的に論じた。
- 8・9月号 特集「ダンス指導のQ&A ダンス指導実践集」第2弾

JAPEWの理事会をはじめ、現場の指導者からもたくさんのダンス指導に関するクエスチョンを集め、具体的に回答を掲載することができた。また、指導実践集は、第52回全国女子体育研究大会(東京) / JAPEW SUMMER SEMINAR 2018の副読本も兼ねて、多くの提案を掲載することができた。

○10・11月号 AJDF 特集号

第31回大会の様子を紹介し、これまで通り全作品に写真を掲載した。

○12・1月号 「人生に生きる深い学び」

人間の人生の、それぞれのステージでどんな学びを積み重ねていきたいか？

幅広い年代それぞれでの実践の報告をもとに、たった今、そして未来に生きる、深い学びを考えることができた。

○2・3月号 「創造力に訴えかけるスポーツ・ダンス教育の現在」

自分の予想をはるかに超える現実が展開していても、その時々に対応していく力が大切だと言われている。創造力というキーワードで多くの視点から教育を検討することができた。

2) 『学術研究』発行

□『学術研究』編集委員会(高野美和子理事、中村理事)

『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』第35巻を刊行した。

4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進

1) 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸): 31st All Japan Dance Festival-Kobe

□AJDF-KOBE専門委員会(八木副会長、平田理事、佃理事)

期 日	2018年8月7日(火)・8日(水)・9日(木)・10日(金)
会 場	神戸市 / 神戸文化ホール・神戸市立中央体育館
主 催	(公社)日本女子体育連盟、神戸市、神戸市教育委員会
主 管	第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 実行委員会
後 援	スポーツ庁、NHK(日本放送協会)、(公財)日本スポーツ協会、 (公財)全国高等学校体育連盟、全国高等学校長協会、兵庫県、 兵庫県教育委員会、(公財)神戸市スポーツ教育協会、(公財)ミズノスポーツ振興財団
協 賛	(株)日本旅行神戸支店、ミズノ株式会社
協 力	(公財)ユーハイム体育・スポーツ振興会
内 容	①開会式 ②創作コンクール部門(高校 / 予選・決選、大学 / 予選・決選) *決選: 有料化(入場料¥1,000) ③参加発表部門 ④表彰式・特別プログラム(創作コンクール部門高校・大学受賞作品、ゲスト作品) *特別プログラムは大ホールにて2回公演(入場料¥4,000)
表 彰	文部科学大臣賞、NHK賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞(以上、高大各1) 特別賞(高大各4)、奨励賞(高大各1)、審査員賞(高3、大1)、準入賞(高4)
参加校数	①創作コンクール部門 高校/88 ・大学/34 計122校

	②参加発表部門	高校/39	・大学/17	計 56校
参加人数	①創作コンクール部門	高校/1,868	・大学/634	計2,502名
	②参加発表部門	高校/774	・大学/306	計1,080名

参加都道府県数 26

TV放映 NHK Eテレ 8月25日(土) 14:00~15:00

- その他
- ・第20回大会記念DVD(20年間のテレビ放映映像を含む総集編)販売
 - ・第31回大会のDVD(Blu-ray)販売の申し込み
 - ・大会の詳細を『女子体育』10・11月号報告特集号に報告

<概要>

第1日目は、「上演打合せ」「顧問会議」「場当たり」を予定通りに実施した。第2日目「創作コンクール部門予選」「開会式」、第3日目「創作コンクール部門決選(有料化)」、第4日目「参加発表部門上演」は、ほぼ予定通りに実施された。第4日目の特別プログラムでは、英国トリニティ・ラバン音楽・舞踊芸術学院大学の若き2人のダンサー(Yee Kei Yuki Chung & Orion Hart)の招聘作品「In Search of Connection(繋がりを探して)」が上演された。参加者数は延べ3,582人、参加校数は178校で概ね昨年並みであった。

第31回大会は、30年の歴史を踏まえ、大会の質を保証しつつ、スリム化や見える化、安全や資金源の確保を図った。安全な大会運営の為、熱中症予防対策として、テントやミストシャワーを急遽設置し、篤志により寄付を受けた経口補水液等の無料提供を行った。また、神戸市と総務が会場に交渉して許可を得、会場内(客席)の観客も補水が出来るように、逐次アナウンスなどを行なった。

本大会の大きな変更点としては以下のことがあった。①開会式を2日目の創作コンクール部門予選終了後に中央体育館において開催。②予選結果のHP上での公表。③アドバイスコナーの廃止(『女子体育』への作品全講評と写真掲載は従来通り)。④装置の大きさの規制。⑤決選鑑賞の有料化。⑥乱数表を用いた予選上演順と決選上演順の決定。⑦大会参加のWEB申し込み。なお、決選鑑賞券の払い戻しにともなう課題等は今後改善する予定。音楽や美術品などの知的財産権に関わるルールについて情報収集し、「大会参加申込要項」に加筆・修正した。

大会役員・委員(総務・上演・アナウンス・審査・式典・受付・記録・DVD等販売・接待・会場・救護・警備)、サポちゃんズ、舞台スタッフ(舞台監督・照明・音響・アナウンス)、各業者(JTB・写真・印刷・HP)等、多くの人々の力で本大会を無事終えることができた。

2) 国際的な研究交流事業

□国際交流専門委員会(八木副会長、田中葵委員長、原田理事)

① 国外の体育・スポーツ・ダンス推進団体との連携、情報交流

- 国際女子体育連盟(IAPESGW)との連携
- JAPEW HP「国際情報」ページに、IAPESGW ニュースレターを毎月配信している。またCID(International Dance Council 国際ダンス協議会)、IWG(International Working Group on Women and Sports 女性とスポーツの国際ワーキンググループ)を中心とした、海外における国際的な女性と体育・スポーツ・ダンス関連の情報を配信した。

② インターナショナル・ダンス・ワークショップの開催

期 日 2018年8月19日(月) 13:00~14:45

会 場 国立オリンピック記念青少年センター スポーツ棟第1・第2体育室

主 催 (公社)日本女子体育連盟

講師 FATIMATA (ファティマタ)

内容 西アフリカ・ガーナのダンス及び文化紹介

概要 昨年度に引き続き、実技のみではなく、国際理解を深めるため、前半は講師の経歴及びガーナでの生活と文化、ダンスについてのレクチャー、後半はガーナのダンスワークショップとして実施した。また、例年単独で行っている本ワークショップを全国大会・SSの共通枠にて開催させていただいたことで、多くの方にご参加いただく機会となった。さらに、近年は学生の参加者数が大半を占めていたが、今回は生涯スポーツ、学校教育関係者が多数受講して下さったため、日常的に海外に触れることが少ない方々への刺激になった可能性が考えられる。

今後のワークショップの方向性としては、今回の文化的な側面を伝えるWSに加え、より学術的・専門的なWSをも検討していく必要がある。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年のIAPESGW国際会議東京大会開催に向け、ダンスを通じた国際理解と交流につながるワークショップとしていきたい。

③ (公社) 日本女子体育連盟の活動情報の国外への発信

- ホームページのイングリッシュガイドの情報を更新した。
- 連盟の活動をIAPESGW News Letterへ投稿した。

④ 日本国内にある異文化グループや国際交流グループとの連携事業についての検討

- 学校や地域において、体育・スポーツ・ダンスを通じた異文化交流が推進できる方法を提案できるよう、情報収集を行った。

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1) JAPEW 賞顕彰

□JAPEW 賞選考委員会 (細川副会長、熊谷理事)

JAPEW 賞は社団法人 (当時) 日本女子体育連盟創立 50 周年を記念して、平成 16 年度に「指導者賞」と「研究奨励賞」の 2 賞が制定されたが、24 年度に新たに「功労賞」が制定され、3 賞となった。さらに連盟創立 60 周年を期に新たに平成 26 年度に「松本千代栄賞」が制定された。本年度は功労賞および指導者賞について候補者の推薦があり、2018 (平成 30) 年 5 月 27 日に各賞の選考委員会を開催し、慎重に審議した結果、以下の通り決定した。受賞者には、第 52 回全国女子体育研究大会 (東京) / JAPEW SUMMER SEMINAR2018 開会式 (8 月 18 日) において表彰状と副賞を授与し、顕彰した。なお、受賞者氏名は機関誌『女子体育』誌上および HP 上で公表した。

① 第 5 回松本千代栄賞 該当者なし

選考委員会 (委員長) 高橋和子

(委員) 杉山重利、川口千代、片岡康子、村田芳子、八木ありさ、
細川江利子

② 第 7 回 JAPEW 功労賞

受賞者 佐浦益子氏 (山口県)

選考委員会 (委員長) 高橋和子

(委員) 片岡康子、高橋眞琴、林眞幾子、笹本重子、八木ありさ、茅野理子

③ 第 15 回 JAPEW 指導者賞

受賞者 青山優子氏 (福岡県)、井坂恵子氏 (茨城県)、井上寿枝氏 (埼玉県)、

茨木浩美氏 (兵庫県)、篠 史美氏 (栃木県)、勢畑多恵子氏 (東京都)、

田中恵美子氏（山口県）、団野美由紀氏（愛知県）、寺澤ゆかり氏（鳥取県）
選考委員会（委員長）高橋和子

（委員）山西哲郎、林真幾子、笹本重子、細川江利子、佐藤廣子、小松恵理子

④ 第15回 JAPEW研究奨励賞 該当者なし

選考委員会（委員長）高橋和子

（委員）金子明友、細川江利子、高野牧子、寺山由美、宮本乙女、茅野理子

6. 広報・普及活動

□広報・普及委員会（高野美和子理事）

1) 『女子体育』購読促進活動（広報・普及および編集専門委員会、事務局）

- ・『女子体育』購読会員増員のための活動を行った。
- ・新規及び継続会員獲得、新卒学生への購読推進及び購読期限切れ会員への対応を行った。

2) 企画・広報

- ・事業報告・事業計画・財務諸表（決算書・予算案等）の情報をHPに公開した。
- ・総会にて上映する平成29年度の活動映像を作成した。
- ・各事業と関連し、情報発信の敏速性とHPの充実をはかった。
- ・サマーセミナー、未来世代の研究発表会の申し込みをHP上で行った。
- ・加盟団体の情報をHPに掲載し、相互リンクを行った。

3) 『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』の電子化

『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』第35巻を電子ジャーナルとしてJ-STAGEに公開した。

- 4) 2021年国際女子体育会議用の大会シンボルマークおよびキービジュアル制作検討を行った。
- 5) 新HP開設へ向けた準備、検討を行った。